



第19回大島地区生涯学習推進大会・第22回大島地区広域文化祭

第19回大島地区生涯学習推進大会と第22回大島地区広域文化祭が、11月19日（土）に喜界町体育館で開催されました。前回の天城町大会の中止を経て、約4年ぶりに開催された同大会には、大島地区12市町村から約300人が来場し、シンポジウムや講演、舞台発表、作品物の展示を通して交流を深めました。

今大会は「奄美のよさを活かして、人づくり・つながりづくり・地域づくり～地域・学校・家庭の連携・協働するまちづくりを目指して～」をテーマに開催され、開会行事に続き行われた表彰式では、本町の原田 辰法さんが、「PTA会長や自治会長を歴任された他、永年にわたり社会教育委員を務められた」功績から、大島地区社会功労者表彰を受賞しました。

続くシンポジウムでは、5市町村から青少年育成や地域づくりの立場等の実践について報告。各市町村とも生涯学習推進に向けた取り組みについて報告があり、会場に訪れた方からは積極的な質疑応答がなされ、活発な意見が交わされていました。

続く記念講演では、講師に「NPO法人 喜界島サンゴ礁科学研究所 所長 山崎 敦子氏」を迎え、「サンゴの島の風土に出会ったサイエンス」を演題に講演。サンゴ礁の魅力や役割、サンゴの隆起の島である喜界島について解説したほか、自身の活動については、「風の人として、島に刺激を与える存在として活動してきたが、現在は水の人として島に寄り添い、種に水を与え続ける中間的支援の存在となってきた。今後も地域とのつながりを大切に活動を続けていきたい」と講演を締めくくりました。

また、同日開催された、「第22回大島地区広域文化祭」では、5団体よる舞台発表が行われ、本町からは、夕凧会の清水李菜さんと中元楓花さんが、「井之朝花」と「ちょう菊節」「むちたぼれ」の島唄3曲を披露し、むちたぼれでは参加者が手舞で飛び入り参加するなど会場を盛り上げていました。



大島地区社会教育功労者表彰を受賞された 原田 辰法さん



島唄を披露した「夕凧会」

北区高齢者クラブが友愛タオル活動で、亀津小へ雑巾を贈呈

10月31日（月）、北区高齢者クラブから亀津小学校（池田昌弘校長）へ雑巾と足拭きマット計100枚が贈呈されました。

県老人クラブが実施する「友愛タオル」活動の一環として、同クラブが長年亀津小学校へタオルの贈呈を行っているもので、一昨年からは、より使いやすいようにと雑巾に仕立てたうえで贈呈しているとのことです。さらに今回は、雑巾に仕立てるタオルを低学年用と高学年用に分け、より使いやすいように配慮したそうです。

贈呈に訪れた、北区高齢者クラブ女性部の亀澤志保子会長と茂岡園子さんは、「毎月のグラウンドゴルフで校庭を使用させていただいているお礼も込めて贈った。昨年12月の津波警報避難の際も校舎の開放を迅速に行っていただいた」と感謝を述べていました。雑巾を贈呈された池田校長は、「毎年いただけて大変ありがたい。子ども達の清掃等に役立てたい」と感謝を述べていました。



「第1回オープンウォータースイミング徳之島大会」を初開催

第1回オープンウォータースイミング徳之島大会が、11月5日（土）、6日（日）と2日間にわたり、山漁港で開催されました。

オープンウォータースイミングとは、海や川、湖など自然の水域で行われる長距離水泳競技で、今年3月同漁港でオープンウォータースイミングナショナルチームがアジア選手権の選考会を行った縁から、今年度初開催となりました。

大会では、5日に10km、6日に5km、3km、1kmの競技が行われ、島内外から選手約100名が参加。両日とも開会行事では「ビーチクリーン活動」が実施され、参加者全員で山漁港の砂浜の清掃を行いました。

5日の10km競技には16人が出場し、高岡町長の号令を合図に一斉にスタートを切り、選手たちは漁港沖に設置された四角形のコースを、キロ数に合わせて周回しゴールを目指しました。10kmでは途中海に浮かんだまま水分補給を行うなど、オープンウォータースイミングならではの光景が見られました。両日ともに海岸の防波堤には多くの観客が訪れ、選手たちに大きな声援を送っていました。

また、6日には山集落女性連が中心となって、玉子おにぎりや油ソーメン、豚みそ、パイナップル漬け等の郷土料理をふるまう「炊き出し」が閉会式と併せて行われ、島のおもてなしに選手の皆さんも大喜びで、記念すべき第1回目の大会は大成功で終了しました。



町地女連 活動報告 (その2)



11月1日（火）第35回ふるさとを興す県地域女性連研究大会（鹿児島県地域女性連創立70周年記念大会）に会長と副会長清瀬で参加させていただきました。

初めての県レベルの会にドキドキワクワク。オープニングは津軽三味線と和太鼓のユニット「和桜」さんによる演奏。続いて「いちき串木野市」「屋久島町」の女性連の踊り。若者の演奏に心が澄みきり、女性連の踊りにはいつの日か私達徳之島町もあの舞台へと心躍りました。

今回のテーマは「すべての人に居場所をつくろう」。来賓あいさつの中で、県でも「県ジェンダー平等計画」に今年度より取り組んでいることに私たちも「ジェンダー」について学ぶ必要性を感じました。

講演は「誰もが自分を活かして幸せに暮らす社会へ」と題して清水肇子さんによるものでした。講演を聴きながら、私たち徳之島は、事例に挙げられたことができている、本当に島はユイの心が育ち、住みやすい島だと再認識しました。印象的だった言葉が「見守る」ということは、「相手のできることを見つけること」だということでした。「寝たきりになった高齢者にも本の読み聞かせ」では、どんな状況になろうとも、心は動いているという事を意識して関わっていかねばいけないと研修会を終えて、自分自身に言い聞かせる日々です。

貴重な経験有難うございました。（町地女連 副会長 清瀬 利津子）

12月行事予定 🍪🍷🍰🍩🍷🍰🍩

12月4日（日）クリスマスフェスタ(図書館主催)

12月11日（日）親子で環境学習・パパママ体験講座
地区親睦ミニバレーボール大会

12月24日（土）クリスマスリースづくりとカップケーキ
デコレーション 🍰🌿🍰

12月のおはなし会 10日・24日 📖

家庭教育支援チーム「つむぎたい」から一言

人からもらう幸せだけでなく、
人のためにできる幸せもある

思いやりの心は、子どものころからの日常における実践を通してはぐくまれます。まず親が率先してやってみせながら、子ども達が自然に妊婦や高齢者へ思いやりのある行動をしたり、困っている人へ声をかけたりできるようなアドバイスしていくことが大切です。

